

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2012-517304

(P2012-517304A)

(43) 公表日 平成24年8月2日(2012. 8. 2)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 3 B 23/00 (2006.01)	A 6 3 B 23/00 Z	4 C 1 0 0
A 6 1 H 15/00 (2006.01)	A 6 1 H 15/00 3 1 0 D	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2011-549396 (P2011-549396)
 (86) (22) 出願日 平成22年2月15日 (2010. 2. 15)
 (85) 翻訳文提出日 平成23年10月5日 (2011. 10. 5)
 (86) 国際出願番号 PCT/AU2010/000158
 (87) 国際公開番号 W02010/091477
 (87) 国際公開日 平成22年8月19日 (2010. 8. 19)
 (31) 優先権主張番号 2009900601
 (32) 優先日 平成21年2月13日 (2009. 2. 13)
 (33) 優先権主張国 オーストラリア (AU)

(71) 出願人 511198128
 カスティリオーネ、アンジェロ
 CASTIGLIONE, Angelo
 オーストラリア連邦 ニューサウスウェー
 ルズ州 2133, クロイドンパーク, ブ
 ロードストリート 22
 (74) 代理人 110001302
 特許業務法人北青山インターナショナル
 (72) 発明者 カスティリオーネ、アンジェロ
 オーストラリア連邦 ニューサウスウェー
 ルズ州 2133, クロイドンパーク, ブ
 ロードストリート 22
 Fターム(参考) 4C100 AA09 AE01 AE14 AF04 AF06
 BB01 CA01 DA00

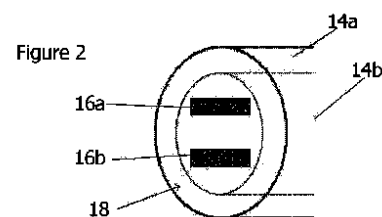
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 改良型運動ローラ

(57) 【要約】

運動ローラ (10) は、2 以上のサブ運動ローラユニット (12, 14) を具え、このサブ運動ローラユニット (12, 14) は互いに連結されて単一の運動ローラ (10) を構成するとともに、分離して個別の運動ローラとしても利用可能である。

【選択図】 図 2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

少なくとも 2 のサブ運動ローラユニットを具える運動ローラにおいて、前記サブ運動ローラユニットは互いに連結されて単一の運動ローラを構成するとともに、分離可能であり少なくとも 1 のサブ運動ローラユニットが個別の運動ローラとして利用可能であることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 2】

請求項 1 の運動ローラにおいて、隣接するサブ運動ローラユニットが、端部と端部で接合することを特徴とする運動ローラ。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の運動ローラにおいて、少なくとも 1 のサブ運動ローラユニットが管状、円筒状または棒状であることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれかの運動ローラにおいて、少なくとも 1 のサブ運動ローラユニットが、ユニット式 (unitary) であることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかの運動ローラにおいて、少なくとも 1 のサブ運動ローラユニットが、長手方向に延在する内部通路を有する第 1 の管状または円筒状の部品と、前記通路に嵌合する第 2 の部品とを具えることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 6】

請求項 5 の運動ローラにおいて、前記第 2 の部品は棒状、管状または円筒状であることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 7】

請求項 5 または 6 の運動ローラにおいて、前記第 2 の部品は、前記通路に嵌合する第 2 のサブ運動ローラユニットであることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 8】

請求項 5 乃至 7 のいずれかの運動ローラにおいて、前記第 2 の部品は管状または円筒状であり、当該第 2 の部品の中に第 3 の部品が配置されることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 9】

請求項 5 乃至 8 のいずれかの運動ローラにおいて、前記通路は前記第 1 のサブ運動ローラユニットの長さ延在することを特徴とする運動ローラ。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかの運動ローラにおいて、少なくとも 2 のサブユニットが互いに端部同士で連結され、前記サブユニットの隣接する端部の一方または双方に連結手段が設けられていることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 11】

請求項 10 の運動ローラにおいて、前記連結手段は、フックアンドループファスナ材料を具えることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 12】

請求項 10 の運動ローラにおいて、前記連結手段は、前記 2 のサブユニットの隣接する端部にそれぞれ穴と、当該穴の中に収容された接合物とを具えることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 13】

請求項 12 の運動ローラにおいて、前記接合物が、サブ運動ローラユニットであることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のいずれかの運動ローラにおいて、少なくとも 1 のサブ運動ローラユニットが、発泡材料で構成されていることを特徴とする運動ローラ。

【請求項 15】

図面を参照して本書に実質的に記載されている運動ローラ。

10

20

30

40

50

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は運動ローラおよびより用途の広い運動ローラの改良に関する。

【背景技術】**【0002】**

運動およびセラピー産業において、能力強化および調整や、自己マッサージおよび柔軟性トレーニングのためにフォームローラが用いられている。これらのフォームローラは、単一ピースで、伝統的に300mmまたは900mmの長さである。

【0003】

いくつかの用途には900mm長のローラが望ましく、他の用途には300mm長のローラが望ましい。一般に、長いローラが望ましい場合には短いローラは使用できず、逆もしかりである。したがって、人は長さの異なる2以上のローラを有する必要がある。同様に、異なる直径のローラが要求される状況がある。この場合も直径の異なる別のローラを用いる必要がある。

【発明の概要】**【0004】**

上述した1以上の課題を解決するために、本発明は2以上のサブユニットを具えるローラを提供する。

【0005】

別の形態として、本発明は、2以上のサブ運動ローラユニットを具える運動ローラを提供し、このサブ運動ローラユニットは単一の運動ローラを構成すべく互いに連結されて分離可能であり、したがって1以上のサブ運動ローラユニットを別の運動ローラとして利用可能である。

【0006】

サブユニットは一般に、管状、円筒、または棒状で、端部が結合するフォームローラである。これらのサブユニットは別の形状でもよく、剛体でもよい。

【0007】

ローラは、内部の縦に延在する通路を有する管状または円筒状の第1のサブユニットと、当該通路に好適には嵌合により結合する第2のサブユニットとを具える。通路は、長さに沿って部分的に延在してもよいし、あるいは長さに沿った全部に延在して両端部が開いていてもよい。

【0008】

各サブユニットはそれ自体2またはそれ以上の部品で構成されてもよい。1以上のサブユニットが、内部の長手方向に延在する通路を有する管状または円筒状の第1の部品と、当該通路に好適には嵌合により結合する第2の部品とを具えてもよい。第2の部品は無垢の棒状部品か、管状または円筒状部品である。この第2の部品が管状または円筒状の場合、第3の（無垢の）部品が当該第2の部品の中に配置される。

【0009】

このように、本発明によるローラは、2、3、またはそれ以上の個別のサブユニットまたは部品を具える。

【0010】

管状部品が設けられる場合、それが内部に要素を有するか否かに拘わらず、管状部品は例えばPVCのような比較的硬質な材料で構成されるか、発泡材料で形成される。

【0011】

所望の場合、ローラには外側硬質チューブと、内側管状発泡コアと、中央硬質発泡コアとが設けられる。外側硬質チューブはローラの長さ全体であってもよく、あるいは2以上の長さを互いに連結してもよい。各サブユニットの部品数は等しくなくてもよい。したがって、外側チューブは単一ユニットである一方、内側チューブおよび/または中央コアは2以上の長さで構成されてもよい。

10

20

30

40

50

【 0 0 1 2 】

サブユニットが端部から端部までの長さで形成される場合、この長さは等しくても等しくなくてもよい。

【 0 0 1 3 】

ローラを2以上の部品で構成すると、個人がローラの全部または一部を持ってどこでも移動できるようになる。ユーザは、ローラの構成により、ユニット全体、短い全径のローラ、または長いのと短いとの双方の小径のローラを持つ選択ができる。さらに、ローラが両端部にサブユニットを具える場合、必要に応じて双方とも用いて結合し、より持ち運びが容易なローラとすることができる。個別の部品とすると、通常のローラでは無理だが、競技者または個人がローラを持参したかを見分ける要素となり、器具の使用とその利点が向上する。

10

【 0 0 1 4 】

本発明の好適な形態では、ローラは2つのサブユニットを具え、各サブユニットは内部通路が長手方向に延在する第1の管状または円筒部品と、当該通路に嵌合する第2の部品とを具える。

【 0 0 1 5 】

前記第1の部品の内部穴と、対応する第2の部品は、好適には断面が円形である。

【 0 0 1 6 】

サブユニットが互いの端部に連結される場合、連結用の端部手段がサブユニットの一方または双方の端部に設けられる。本発明の好適な形態では、これはV e l c r oの商標名で販売されるようなフックアンドループファスナ材料を具える。他の連結手段を用いてもよい。例えば、相補的なプレススタッド式ファスナや、トングアンドグループ式ファスナを用いることができる。パルクC Dのコンテナなどで見ることができるローラ軸の周りの回転により係合するトングアンドグループ構成を用いてもよい。サブユニットが互いに対して横向きの移動により係合するトングアンドグループ構造を用いてもよい。

20

【 0 0 1 7 】

文脈が他に明示しない限り、明細書やクレームを通して「具える」、「具えている」等の用語は包括的な意味であり、排他的または網羅的な意味ではなく、すなわち、「含むが、限定されない」の意味と解されるべきである。

【図面の簡単な説明】

30

【 0 0 1 8 】

【図1】図1は、本発明の第1実施例の概略斜視図である。

【図2】図2は、図1の第1実施例の部品の端部の詳細図である。

【図3】図3は、本発明の第2実施例の概略斜視図である。

【図4】図4は、図3の第2実施例の部品の端部の詳細図である。

【図5】図5は、第2実施例の変形例の側部断面図である。

【図6】図6は、第1実施例の変形例の端部の詳細図である。

【図7】図7は、第2実施例の変形例の端部の詳細図である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 1 9 】

40

図1、図2を参照すると、本発明の一実施例にかかるローラ10が示されている。ローラ10は、サブユニット12、14を具える。サブユニット12は約560mm長であり、サブユニット14は約360mm長である。

【 0 0 2 0 】

サブユニット12、14は端部同士が連結手段で連結されており、これは本例では図2においてサブユニット14の端部18に示すフックアンドループファスナ材料16a、16bである。サブユニット12の反対側の端部20にも相補的な小片があることを理解できるであろう。これらの小片16a、16bはともにフックまたはループ材料であってもよいし、一方がフック材料で他方がループ材料であってもよい。

【 0 0 2 1 】

50

これら２つのサブユニットは、連結されると約９００ｍｍ長の単一のローラを構成する。２つのサブユニットは分離することができ、これにより長さの短い２つの個別のローラを提供する。このように、単一の９００ｍｍ長のローラが、長いローラと短いローラの双方の機能を提供しうる。２つのサブユニット１２、１４は同じ長さである必要はないが、同じ長さでもよい。

【００２２】

各サブユニットは、空洞の管状または円筒状の外側シェル１２ａ、１４ａと、無垢の棒状内側部品１２ｂ、１４ｂとを具える。サブユニットの内側および外側の部品は、等しい長さであることが好ましい。外側シェル１２ａ、１４ａは、約６インチ（～１５０ｍｍ）の外径であり、それぞれの内側の穴２２ａ、２４ａは直径約４インチ（～１００ｍｍ）である。無垢の内側部品１２ｂ、１４ｂは、内側の穴２２ａ、２４ａと同じ直径を有し、対応する部品１２ａ、１４ａに嵌合するが容易に取り外せる寸法である。サブユニットの端部には、内側部品が外側部品から不意にスライドして出てしまわないように内側および外側要素を互いに固定する手段が設けられている。

【００２３】

したがって、大径のローラが必要な場合（長からうと短からうと）、内側部品を外側部品に挿入してローラを用いる。

【００２４】

小径のローラが必要な場合、一方または双方の内側部品に対応する外側部品から取り出して、単独または互いに連結した状態で用いる。図２に示すように、連結手段１６の少なくとも一部が内側部品に取り付けられ、これにより２つの内側部品が互いに取付られる。

【００２５】

内側部品１２ａ、１２ｂはともに部品１２のサブユニットであり、同様に部品１４ａ、１４ｂはともに部品１４のサブユニットであると理解されたい。

【００２６】

内側部品１２ｂ、１４ｂは、それぞれ部品１２ａ、１４ａの全長に延在する必要はない。穴２２ａ、２４ａは一端で閉じていてもよいし、全長に亘って延在して内側部品１２ｂ、１４ｂを短くしてもよい。

【００２７】

図３、４を参照すると、本発明の別の実施例のローラ３０が示されている。ローラ３０は、２つのサブユニット３２、３４を具える。サブユニット３２は約５６０ｍｍ長であり、サブユニット３４は約３６０ｍｍ長である。ここでも、サブユニット３２、３４の長さは等しくてもよい。

【００２８】

２つのサブユニット３２、３４の端部同士は、本例では図４にサブユニット３４の端部３８に示すロッド３６である取付手段を用いて連結されている。ロッド３６は木材が好ましいが、他の材料で構成してもよい。ロッド３６は直径約２７ｍｍで、長さ約２１０ｍｍである。このロッドはより短くても長くてもよく、特に大きなユーザには２７０ｍｍ長であってもよい。このロッドは、ロッド長の約半分の長さの穴４０に受けられる。別の部品３４は対向する面に同様の穴を有する。ロッド３６は好適には穴４０に締め込み、これにより挿入時に２つの部品３２、３４が互いに比較的強く連結される。

【００２９】

ロッドは、フットローラとして用いるのに好ましく寸法調整されており、上述した寸法はこの目的のために選択されている。ロッド３６の寸法は、特にロッド３６が個別の運動用具のアイテムとして用いることを企図しない場合に、異なってもよい。

【００３０】

図３、４の実施例は、図１、２のものと似ており、各サブユニットは中空の管状または円筒状の外側シェル３２ａ、３４ａと、無垢の棒状内側部品３２ｂ、３４ｂとを具える。サブユニットの内側および外側部品は同じ長さであることが好ましい。外側シェル３２ａ、３４ａの外径は約６インチ（～１５０ｍｍ）であり、それぞれの内側の穴２２ａ、２４

10

20

30

40

50

a の直径は約 4 インチ (~ 1 0 0 m m) である。無垢の内側部品 3 2 b、3 4 b は、内側の穴 2 2 a、2 4 a と同じ直径を有し、対応する部品 3 2 a、3 4 a に嵌合するが容易に取り外せる寸法である。サブユニットの両端部には、内側部品が外側部品から不意にスライドして出てしまわないように内側および外側要素を互いに固定する手段が設けられてもよい。

【 0 0 3 1 】

内側部分 3 2 a、3 4 a には単純な穴が好ましいが、ロッド 3 6 はロッキング式の穴に受けられてロッド 3 6 が対応する穴により固定的に保持されるようにしてもよい。

【 0 0 3 2 】

図 5 は、各サブユニット 3 2、3 4 の端部にインサート 4 0 設けられている変形例を示す。インサート 4 0 は、ロッド 3 6 を収容するサイズの穴 4 2 を有する。ロッド 3 6 は、両端部に円形溝 4 4 を有し、各インサートが、バネ 4 8 により部分的に穴 4 2 内へと付勢されている 1 以上のバネ付勢型ボール 4 6 を有する。ロッド 3 6 が穴 4 2 内に挿入されると、ボール 4 6 が引っ込んで溝側へ付勢され、これによりロッド 3 6 が穴 4 2 内に保持される。

10

【 0 0 3 3 】

ローラは、2 より多いサブユニットで組み立てられてもよい。

【 0 0 3 4 】

本実施例の図示する 2 つのサブユニットはいずれも 2 つの部品でなるが、これは必須ではない。2 つの無垢なサブユニットを用いてもよい。2 つのサブユニットを用いる場合、一方が無垢で他方が 2 ピースユニットであってもよい。2 またはそれ以上の 2 ピースサブユニットを用いる場合、内側部品に対応する内側の穴の直径は等しくなくてもよい。例えば、一方の内側部品は直径 4 インチ、他方の直径が 3 インチでもよい。2 ピースサブユニットを示すが、1 のサブユニットは 3 またはそれ以上のほぼ同心円の要素で構成されてもよい。

20

【 0 0 3 5 】

図 6、7 は、最初の 2 つの実施例の変形例を示し、1 以上のサブユニット 1 2 a、3 2 a がそれぞれ単一の発泡体ピースで形成されている。この発泡体は、例えば直径 4 や 6 インチなど様々な適切な寸法とすることができる。

【 0 0 3 6 】

固いローラの実施例を示したが、これは必須ではなく、ローラが所望量の弾性を有すればよい。用いる材料によって、ローラは無垢としてもよいし、1 以上の長手方向に延在する通路を有してもよい。これらの通路はサブユニットを均質に通ってもよいし、複数ピースのサブユニットの 1 またはそれ以上の要素を通して延在してもよい。

30

【 0 0 3 7 】

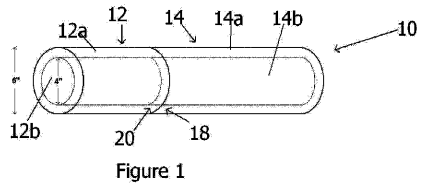
フックアンドループ式ファスナが好ましいが、他の適切な着脱式ファスナを用いてもよい。

【 0 0 3 8 】

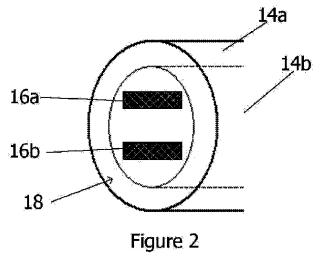
当業者であれば、本発明の意図および範囲を逸脱することなく、本書記載の実施例に多くの自明な変形や変更をなしうることを理解できるであろう。

40

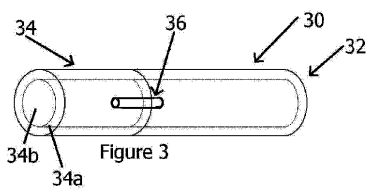
【 図 1 】



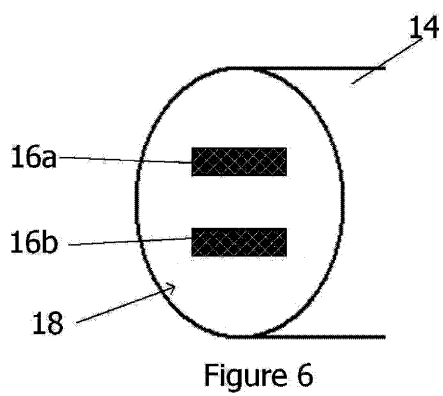
【 図 2 】



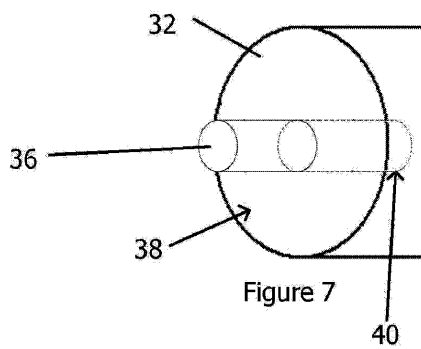
【 図 3 】



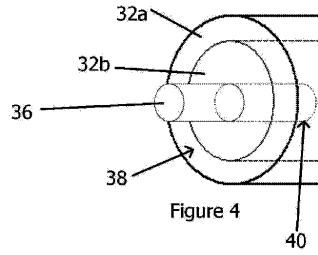
【 図 6 】



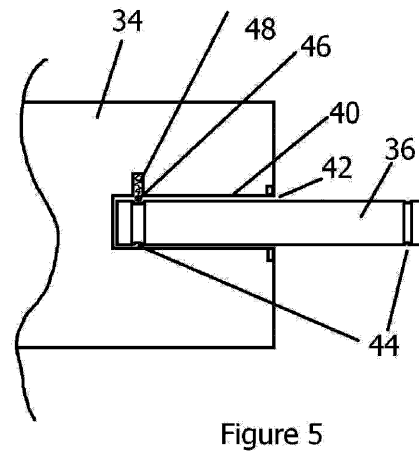
【 図 7 】



【 図 4 】



【 図 5 】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/AU2010/000158
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
Int. Cl.		
A61H 15/00 (2006.01) A63B 22/00 (2006.01) A63B 23/00 (2006.01)		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) Google Patents, Patent Lens, EPOQUE: EPODOC & WPI; ECLA & IPC A61H, A63B 22/-, A63B 23/- and keywords: Exercise, Roller, Tubular, Cylindrical, Connect, Engage, Removable, Distinct, Hollow, Bore, Cavity, Fastener, Foam, Sponge and like terms.		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 4643417 A (NIEMAN) 17 February 1987 See Abstract, Figs.1 & 2	1-14
X	US 5445581 A (FERBER) 29 August 1995 See Abstract, Figs.1 & 2	1-4 & 10-13
X	US 5580335 A (SMITH, IV) 03 December 1996 See Abstract, Figs.2-4	1-4 & 10-13
X	US 5637065 A (CHANG) 10 June 1997 See Abstract Figs.1 & 2	1-4 & 10-14
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 12 April 2010		Date of mailing of the international search report 16 APR 2010
Name and mailing address of the ISA/AU AUSTRALIAN PATENT OFFICE PO BOX 200, WODEN ACT 2606, AUSTRALIA E-mail address: pct@ipaaustralia.gov.au Facsimile No. +61 2 6283 7999		Authorized officer VARUN WADHWA AUSTRALIAN PATENT OFFICE (ISO 9001 Quality Certified Service) Telephone No : +61 2 6225 6142

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/AU2010/000158

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 5580336 A (COALLIER) 03 December 1996 See Abstract, Figs.2 & 3	1-2, 4 & 10-14
X	US 5776034 A (STAMLER) 07 July 1998 See Abstract, Figs.2 & 3	1-13
A	US 5967953 A (NUNEZ) 19 October 1999 See Whole Document	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/AU2010/000158

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1. ☒ Claims Nos.: 15
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
The claim 15 does not comply with Rule 6.2(a) because they rely on references to the description and/or drawings.
2. ☐ Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
3. ☐ Claims Nos.:
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a)

Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:

1. ☐ As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. ☐ As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
3. ☐ As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. ☐ No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:

Remark on Protest

- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.
- ☐ The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.
- ☐ No protest accompanied the payment of additional search fees.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/AU2010/000158

This Annex lists the known "A" publication level patent family members relating to the patent documents cited in the above-mentioned international search report. The Australian Patent Office is in no way liable for these particulars which are merely given for the purpose of information.

Patent Document Cited in Search Report		Patent Family Member	
US	4643417	NONE	
US	5445581	AU 64836/96	US 5536223 WO 1997/002867
US	5580335	NONE	
US	5637065	NONE	
US	5776034	NONE	
US	5967953	NONE	
Due to data integration issues this family listing may not include 10 digit Australian applications filed since May 2001.			
END OF ANNEX			

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW